



日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる学術・技術専門家集団として社会への情報提供を行うため、主要な活動等について、随時プレスリリースを行っています。

今回は、「2018年秋の大会」開催のお知らせです。

日本原子力学会「2018年秋の大会」開催のお知らせ 9月5日～7日 岡山大学津島キャンパス

期日：2018年9月5日（水）～7日（金）

場所：岡山大学 津島キャンパス（岡山市北区津島中 1-1-1 <http://www.okayama-u.ac.jp/index.html>）

主催：一般社団法人日本原子力学会（<http://www.aesj.net>）

特別講演、主なセッションは以下のとおりです。

特別講演【無料公開】

■9月6日（木）13:00～14:00 I会場 座長：（岡山大）山岡 聖典
「ラドン療法の治療実績と研究動向」 （岡山大）光延 文裕

特別セッション[理事会主催 原子力安全部会, 社会・環境部会, 原子力発電部会共催]

■9月5日（水）14:45～16:45 B会場 座長：（法政大）宮野 廣
「世界から見る原子力発電所の安全 原子力発電の安全は今」 （会長）駒野 康男
(1) 挨拶・開催の趣旨 (WANO 東京セ) 松井 三生
(2) 世界の原子力発電所の安全確保 (関西電力) 決得 恭弘
(3) 日本の原子力発電所の安全確保 (東京電機大) 寿楽 浩太
(4) 原子力発電所の安全 —社会からの問題提起— (東大) 関村 直人
(5) 原子力発電所の安全 —学術の視点—

合同セッション

- 9月5日（水）13:00～14:30 G会場 【バックエンド部会, 保健物理・環境科学部会】
「クリアランスの現状と課題(1) わが国におけるクリアランスの現状と検討状況」座長：(アイソトープ協会) 大越 実
(1) クリアランスにおける線量規準の考え方 (電中研) 荻野 晴之
(2) わが国におけるクリアランスの現状と課題 (電事連) 石井 公也
(3) 物品搬出ガイドラインとクリアランス (JAEA) 橋本 周
- 9月6日（木）13:00～14:30 B会場 【核データ部会, 加速器・ビーム科学部会, 「シグマ」特別専門委員会】
「小型加速器中性子源と核データのニーズ」 座長：(東工大) 林崎 規託, 片渕 竜也
(1) 小型中性子源のためのp-Be中性子スペクトル関数及び応用利用から核データに対するニーズ例 (理研) 若林 泰生
(2) アクティブ中性子非破壊測定装置開発における中性子原と核データのニーズ (JAEA) 藤 暢輔
(3) 医療応用を中心とした小型加速器の産業応用と核データ (日立) 田所 孝広
- 9月6日（木）13:00～14:30 G会場 【保健物理・環境科学部会, バックエンド部会】
「クリアランスの現状と課題(2) 国際動向と再利用の検討状況」 座長：(福山大) 占部 逸正
(1) AEA安全指針RS-G-1.7改訂の動向と主な論点 (電中研) 服部 隆利
(2) 福島第一原子力発電所における低線量がれきの限定的な再利用の考え方 (JAEA) 島田 太郎
(3) 使用済核燃料から回収した有用元素の再利用とクリアランスの考え方 (京大) 高橋 知之
- 9月6日（木）13:00～14:30 K会場 【教育委員会, 「原子力アゴラ」調査専門委員会】
「大学等核燃およびRI施設におけるセキュリティ対策の在り方」 座長：(東北大) 佐藤 修彰
(1) 開会の挨拶 (東大) 上坂 充
(2) 大学等核燃施設セキュリティ対策の現状と課題 (九大) 檜山 敏明
(3) 大学等RI施設のセキュリティ対策の現状と課題 (京大) 大槻 勤
(4) パネルディスカッション (九大) 檜山 敏明, (京大) 大槻 勤, (東大) 上坂 充
(5) 閉会の挨拶 (福井大) 宇埜 正美

本件に関する取材等お問合せ先 (9:30～17:00 土日・祝日除く)

日本原子力学会事務局 TEL : 03-3508-1261 / E-mail : meeting@aesj.or.jp



委員会セッション

■9月5日(水) 13:00~14:30 B会場【理事会】

「学協会は福島復興と廃炉推進に向けてどのように貢献すべきか」

座長：(東大) 上坂 充
(会長) 駒野 康男

- (1) 挨拶 (ANFURD の活動状況等紹介)
- (2) 放射線被ばくと健康・コミュニケーション
—低線量放射線による健康影響および福島県民健康調査について—
- (3) 放射線被ばくと健康・コミュニケーション
- (4) トリチウム水の取扱い—トリチウム水の取扱いに関する議論の現状—
- (5) トリチウム水の取扱い—論点と意見のまとめ—
- (6) 燃料デブリ取り出しにおける潜在的課題
- (7) 学協会連絡会への期待や連携の在り方—廃炉検討委員会から—
- (8) 学協会連絡会への期待や連携の在り方—福島特別プロジェクトから—
- (9) 会場との質疑・意見交換

(放射線影響学会, 福井大) 松本 英樹
(放射線影響学会, 東工大) 松本 義久
(水産学会, 中央水産研) 森田 貴己
(AESJ, JAEA) 宮原 要
(腐食防食学会, 東大) 鈴木 俊一
(廃炉検討委員会委員長, 法政大) 宮野 廣
(福島PJ, NUMO) 布目 礼子
全講演者

■9月5日(水) 13:00~14:30 I会場【標準委員会】

「学協会規格の策定と活用の活性化に向けて」

座長：(東大) 関村 直人
(東大) 関村 直人
(原安進) 成宮 祥介
(東京電力HD) 村野 兼司
(規制庁) 金子 修一
(東大) 関村 直人

- (1) 学協会規格の役割とあり方
- (2) 学協会規格策定活動の充実、強化のための課題
- (3) 自主的安全性向上の取組と学協会規格への期待
- (4) リスク情報活用と安全確保の実績を重視する検査制度における学協会規格の活用
- (5) 総合討論

■9月6日(木) 13:00~14:30 L会場【広報情報委員会】

「原子力学会としての社会への情報発信のあり方 —広報情報委員会の活動—」

座長：(NUMO) 布目 礼子
(電中研) 佐賀井 美都
(JAEA) 山本 隆一

- (1) マスメディアを通じた情報発信の現状と今後
- (2) ポジションステートメントの現状と今後

■9月7日(金) 13:00~14:30 C会場【倫理委員会】

「災害に備えるために必要となる原子力関係者の倫理」

座長：(NUMO) 布目 礼子
(JAEA) 伊藤 公雄
(JAEA) 野村 紀男
(原安進) 久郷 明秀
(東大) 飯本 武志

- (1) 日本原子力研究開発機構の安全文化醸成活動について その1 機構の取組について
- (2) 日本原子力研究開発機構の安全文化醸成活動について その2 大洗燃研棟事故を踏まえて
- (3) 研究機関の安全文化に関するコメント (その1)
- (4) 研究機関の安全文化に関するコメント (その2)

■9月7日(金) 13:00~14:30 I会場【福島第一原子力発電所廃炉検討委員会】

「福島第一原子力発電所廃炉検討委員会」現地状況及び活動報告

座長：(東大) 関村 直人
(東京電力HD) 石川 真澄
(経産省) 田中 佑典
(NDF) 福田 俊彦
(IRID) 清浦 英明
(法政大) 宮野 廣

- (1) 福島第一原子力発電所廃炉の現状
- (2) 廃炉の取り組み体制とロードマップの状況
- (3) 福島第一廃炉の技術戦略と研究開発の全体像
- (4) 福島第一原子力発電所廃炉に向けた IRID による技術開発の現状
- (5) 廃炉検討委員会の話題 —WS 廃炉の論点と対応—

※プログラムについては、当学会「2018秋の大会」HPをご覧ください。

<https://confit.atlas.jp/guide/event/aesj2018f/top>

大会を取材される報道機関の皆様へ

本大会の取材をご希望の際は、以下の手順でお手続きをお願いいたします。

1. 大会総受付(一般教養棟 C棟 2階 C24教室)へお越しいただき、報道関係者窓口にて名刺をお渡しください。
2. 「取材申込用紙」に氏名・社名、取材を希望されるすべてのセッション名 (または会場名)をご記入ください。
3. 「報道関係者」の名札をお渡ししますので、名札を必ず付けて、取材希望セッション会場へお入りください。
4. 会場へ入られましたら、取材を開始する前に、当該セッションの座長またはセッション担当者・関係者へ必ず取材の許可を得てください。また、同会場で複数のセッションを取材する場合は、その都度当該セッションの座長またはセッション担当者・関係者へ必ず取材の許可を得てください。
個別の講演・発表として取材される際は、必ず各講師・登壇者および座長へ取材の許可を得てください。
会場内では、参加者のプライバシーへのご配慮をお願いいたします。
5. 取材が終了されましたら、総受付へ名札を返却してください。

本件に関する取材等お問合せ先 (9:30~17:00 土日・祝日除く)

日本原子力学会事務局 TEL : 03-3508-1261 / E-mail : meeting@aesj.or.jp



AESJ 日本原子力学会
Atomic Energy Society of Japan

ご協力をよろしくお願いいたします。